



くぼみに眠るそら-仔犬- 2021
ナフタリン、ミクストメディア (東山釜の石膏型を使用)
撮影: 福永一夫



眠れる森
2021
ナフタリン、トランク、ミクストメディア
写真 提供: ニューカラー写真印刷



Voyage 2023 インスタレーション「コンクリートの茶会」
フレスコ紙、鉛筆、写真、石、ガラス、空気、紙糸、サイズ可変

協力: 京都大学大学院理学研究科付鳳山天文台
©Nacasa & Partners Inc. / Courtesy of Foundation d'entreprise Hermès



みちかけの透き間-時計- 2017
ナフタリン、ミクストメディア
「宮永愛子 みちかけの透き間 大原美術館 有隣荘 / 岡山」
写真: 木奥恵三 ©MIYANAGA Aiko



そらみみそら(有隣荘) 2017 陶、釉
サウンドインスタレーション
「宮永愛子 みちかけの透き間」大原美術館 有隣荘 / 岡山
写真: 木奥恵三 ©MIYANAGA Aiko

2024
10 / 27
日
14:30
|
16:00

— 美術家
宮永 愛子

全国公開実技コンクール
彫刻科 特別講演会

学校法人 高澤学園 芸大・美大受験
DIG すいどーばた美術学院

2011年に第22回五島記念文化賞美術新人賞、2023年には日産アートアワード初代グランプリを受賞、若い世代を代表する現代美術作家として活躍が期待されている。時間や記憶についての省察をナフタリンや塩といった素材を使ったオブジェやインスタレーションで表現し、昇華や結晶化といった自然の変化を巧みに取り入れることで視覚化する作品で知られる。



Profile

宮永 愛子 MIYANAGA Aiko

- 1974年 京都市生まれ
- 1999年 京都造形芸術大学芸術学部美術科彫刻コース卒業
- 2008年 東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修士課程修了

近年のグループ展 group exhibition

- 2023 森美術館開館20周年記念展「ワールド・クラスルーム:現代アートの国語・算数・理科・社会」森美術館、東京
- 2023「Interference」銀座メゾンエルメスフォーラム / 東京
- 2022「旅と想像/創造 いつかあなたの旅になる」東京都庭園美術館
- 2022 京都市京セラ美術館 開館1周年記念展「コレクションとの対話:6つの部屋」京都市京セラ美術館
- 2022 DOMANI・明日2020 日本博スペシャル展「傷ついた風景の向こうに」国立新美術館 / 東京

近年の個展 solo exhibition

- 2023「宮永愛子 詩を包む」富山市ガラス美術館 / 富山
- 2023「宮永愛子—海をよむ」ZENBI-鍵善良房-KAGIZEN ART MUSEUM / 京都
- 2022「くぼみに眠る海」ミヅマアートギャラリー / 東京
- 2020 京都府新鋭選抜展2020特別出品「うたかたのかさね」京都文化博物館 別館ホール
- 2019「漕法 はじまりの景色」NADiff Gallery / 東京
- 「宮永愛子:漕法」高松市美術館 / 香川
- 2018「life」ミヅマアートギャラリー / 東京
- 2017「宮永愛子 みちかけの透き間」大原美術館 有隣荘 / 岡山

●聴講は全国公開実技コンクール(彫刻科)受験者に限ります。